質疑一般質問

稲村千尋（いなむらちひろ） 議員

熱海成風会

◆所属委員会◆
観光建設公営企業委員会
公共施設整備等特別委員会
（委員長）

「子ども商品券」・「頑張ろう商品券」の支給について／就学前保育・教育の完全無償化について

質問 熱海の最近17年間の出生数は、２０２人から82人に59・41％も減少し、全国平均より26％も高い減少率であり、高齢化率は49％で全国平均より20％も高い状況である。長泉町で喜ばれている０・３・６歳児への１万円の「子ども商品券」の支給、さらに高齢化率の高い熱海は75・80・85歳の皆さんへ１万円の「頑張ろう商品券」の支給を。

答弁 来年度、補聴器購入費の助成や多子世帯助成制度の拡充等の準備を進めている。

要望 来年度、宿泊税の導入により市民生活に回す財源が１億４千万円程増えるなか、少子高齢化政策の更なる積極的な取組を強く要望する。

質問 最近17年間の熱海の人口減少率は全国の減少率の７倍であり、この間の熱海の出生率は59・４％減少し、全国平均より26％も高い減少率である。市長は６年前に「就学前保育・教育の完全無償化」を表明したが、まだ達成されていない。国は３～５歳の幼稚園等の利用料を無償化した。市長は０～２歳児の利用料無償化をなぜ実施しないのか。

答弁 保育施設利用家庭と在宅保育家庭との間の負担の公平性をどのように担保するのかという課題等があり、まだ実現できていない。

要望 それならば、在宅保育家庭には、支援金を支給して下さい。

その他の質問項目
■新幹線通学支援
■お達者年齢を伸ばす取組

11月定例会質疑・一般質問の模様はこちらから

室伏友三（むろふしゆうぞう） 議員

熱海成風会

◆所属委員会◆
観光建設公営企業委員会
公共施設整備等特別委員会

外国人住民の現状・地域コミュニティについて／ALT活用による効果と今後について

質問 年々、外国人移住者が増えていることの課題や展望はあるか。

答弁 観光関連産業をはじめ人手不足となっていること、また増加するインバウンド客への対応なども含め、外国人労働者の需要は今後も高まるものと考えており、外国人住民の増加は継続するものと考えている。地域住民と外国人住民が共に暮らしていくために必要な施策を推進する体制を整備する事を検討している。

質問 施策推進と体制整備は具体的にどのようなことを目指すのか。

答弁 多文化共生を推進する室を設置する予定としている。

要望 その室には語学に堪能な職員の採用と予算の確保も検討いただきたい。

質問 ＡＬＴを導入して英語教育にどのような変化や効果が得られているか。今後の英語教育発展のために更なるバージョンアップや課題はあるか。

答弁 外国語でコミュニケーションをとる際に、自分の思いを自分で伝えようとする児童・生徒が増えた。ＡＬＴの指導をはじめ、デジタル教科書等の教材も十分に活用しながら、児童・生徒が自ら進んで学びに向かい、学力の向上を図れるような授業や学びの環境づくりに力を入れていきたい。

その他の質問項目
■外国人の移住目的
■ＡＬＴの導入理由と授業内容

11月定例会質疑・一般質問の模様はこちらから

※＿＿で表記されている言葉については、Ｐ8の解説を御参照ください。